

(会議の経過) 第4回一宮南中学校区 学校規模適正化・幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
委員	委員からのアンケートを集約し、それについての行政の考え方を資料としてまとめてもらった。まずそれについての説明を受け、その後、今後の協議の進め方、またこの会の閉じ方も協議いただきたい。
事務局	※資料について説明
委員	事務局の説明を受け、意見をいただきたい。
委員	学校規模適正化のところで「千種町の方々の意見が聞きたい」、それに対しての回答で「概ね肯定的に受け取られている」となっているが、何人を調査した結果、何人が肯定的で何人が反対されたのか。
事務局	鷹巣の保護者8名が独自に実地されたアンケートによるもの。子ども達は全員新しい学校に元気に通っているという内容で、学校に行きたくないというような否定的な意見はなく、一緒になってよかったという意見であった。千種北についてはアンケートはしていないが、保護者から学校が一緒になって良くなかったというような否定的な意見は聞いていない。
委員	この書き方では千種町のほとんどの方が肯定的だったと捉えてしまう。実際に調査されたのは8名の方で、その意見なのか。
事務局	鷹巣の8名の保護者の意見である。
委員	8名で「肯定的な意見が多かった」とは言えないのではないかな。もう少し多くの方の意見を聞かないとデータとしては大雑把過ぎる。
事務局	言われるとおり、保護者という表現だと全保護者を含むように聞こえたかもしれない。質問の主旨が、南小へ行くことになった側の子どもの意見を聞きたいということと考え、それに対するものとして掲載した。
委員	集計としては少ないように思う。
委員	この意見はこの委員会での意見と思う。保護者や地域の方に説明をしてもらえるのか。するならばどのような方法でしていくのか。
事務局	今後の進め方については相談していきたい。今年度も終わりが近く、この委員会で来年度からどう進めていくかも協議いただきたい。
事務局	この委員会では地域や保護者の代表に集まっていたいているが、議論の内容は他の保護者や地域にはまだまだ伝わっていないと思っている。事務局としては、今年度の委員会の議論の内容や方向性を総括して、全戸配布等でお知らせし、また意見をいただき、熟度を深めながら次の年度に進めていけたら良いのではないかと考えているのでそういったことも含めて協議いただきたい。
委員	学校規模適正化も幼保一元化も、いずれ協議会を立ち上げるということになっているが、この委員会としては方向性だけを決めればいいのか。
事務局	この委員会では方向性を決めていただきたい。具体的には、学校規模適正化についていうと、まずそれを進めるかどうか、そして実施時期と場所を決めていただきたい。その後、協議会を作り、次のステップへ移ることになるが、協議会は新しい学校を作ることが前提のものになる。
委員	学校規模適正化については市全体の委員会はないのか。幼保一元化については就学前の教育・保育のあり方について委員会が設けられ、その中の3つの部会で、こども指針、質の向上、運営のあり方を検討されてきた。学校規模適正化はこの委員会ですべてを検討して方向性を導き出す。幼保一元化は全体の委員会で検討した方向性によって、地域でどうやっていくのか検討する。このよう

事務局	<p>な議論はこの委員会ではされておらず、今までは疑問、質問しか出ていない。それで3月末までに方向性を出すというのはどうだろうか。</p> <p>平成21年度8月に計画を策定し、子どもの数が減少する中で、市としては学校規模適正化、幼保一元化を進めていきたいという方向性は出している。幼保一元化では言われるとおり市全体の委員会を設けたが、大きな計画はあるが、具体的にどのように進めるのかということで、ガイドラインなど、具体的に進めるための仕組みを作ったというのが現状である。千種、波賀地域には何度も説明に行ったが、他の地域は年1回程度しかできなかったという反省を踏まえて、中学校単位に委員会を作り協議をいただいている。この場で方向性を出すことは難しいかもしれないが、今後の進め方については決めていただきたい。先ほど事務局としては考え方を出しているが、市の考え方に対して地域としての意見があれば出していきたい。</p>
委員	<p>子どもの集団が小規模になるということで、まず、千種から説明に入っていた。幼保一元化も提案したが、千種の住民の方から幼保一元化と民営化に反対する請願が出た。波賀町も同様に進めたが、ガイドライン等がない状態で協議したため反対が出た。このとき市長の想いが出て、議論が立ち止まり、全体会の委員会ができ、それに基づき地域の委員会で協議することになった。千種の地域委員会では方向性が決定し、了解を得たと聞いている。神戸、染河内は平成30年の予定であり猶予はあると思う。早く進めていく所もあれば手付かずの地域もあり、じっくり協議していく必要がある。今後どうしていくか協議できたらと思う。幼保一元化の担い手を社会福祉法人で進めるなら、例えば一宮南中学校区なら一宮ひかり保育所があるが、北中学校区は社会福祉法人がない。そのようなことも頭に置いてもらい、一宮ひかり保育所でできるかどうか考えていかないといけないのではないかと。これについて事務局どうか。</p>
事務局	<p>ガイドラインでも示しているように、市としては担い手の基本として社会福祉法人を考えている。まず市内で保育実績がある社会福祉法人、また地域で立ち上げてもらう社会福祉法人が考えられる。基本的には市内の社会福祉法人に担い手になっていただけたらと思っている。どこの地域をどの社会福祉法人が担うなどは決まっておらず、これからの協議になっていく。</p>
委員	<p>幼稚園と保育園が一緒になり、全く新たなところで認定こども園を作ることになるのか。幼稚園と保育所は全然違うと思う。先生も違うだろうし、教え方も違う。幼稚園、保育所それぞれの場所をあちこち移動することになるのか。そのあたりのイメージがわからない。</p>
事務局	<p>市は幼保連携型の認定こども園を目指している。それぞれ認可をとった幼稚園、保育所が1つの施設でその機能を果たす。あちこちに移動することは考えていない。場所については色々な考え方があるが、既存の施設を利活用するとすると、幼稚園施設では給食室や乳児室等がなく、保育所施設では広い園庭がないといったように、それぞれ整備が必要になる。新たに建てる場合は、そのような設備を兼ね備えた施設を建てる必要がある。施設についても、担い手となる社会福祉法人にしても、新たな仕組みの中で運営されていくことになる。</p>
委員	<p>そういう説明をしてもらわないと我々としても議論しにくい。そういった基本の説明があつて、地域ごとの議論をしていかなければ。</p>
委員	<p>中学生の子どもがいるのだが、中学校でも子どもが減り、部活動が成り立たない問題が出てきているので、その辺りも踏まえ中学校もいずれ1つになるなら</p>

事務局	同じように考えてもらいたい。
事務局	中学校の話も聞くことはあるが、エリアが大変広くなるため、平成21年の計画では、まずは小学校の再編計画を立てている。
委員	10年後の北中学校の人数はどれくらいになっているのか。
事務局	83人である。現在119人である。
委員	この委員会は推進する委員会ではない。市は地域の話聞いていくということだが、平成21年に大きな計画ができ、それに沿ってやっていきたいという話。運営や経費など、様々なことを踏まえての計画だと思う。あまり意見ばかり聞いても話が進まない。自治会の中でも早くした方が良く、経費がかかるだけだという方も多。次回はそういったことも考慮して進めてはどうか。
事務局	幼保一元化は新しい仕組みであるが、質の高い幼児教育を提供していくために、市が今進めていこうとしているこのことが最善の案だと考えている。また、地域から学校がなくなるということは大きな問題。地域の意見を集約し、丁寧に進めていく必要があると思っている。
委員	限界集落を活性化するために「何か持ってこい」と地域は取り組んでいる。地域活性化とこの問題はまるで正反対のことである。市としては確固たる考えを持って進めているのだろう。ただ、地域は地域で活性化に取り組みたい。
委員	地域活性化と一緒に考えると難しくなると思う。子どものことを思えばやむを得ないこともあるだろう。幼保一元化については、姫路市は今やっとアンケートを取ったりしている。自民党政権に変わったが、国の法律はどうなるのか。
事務局	昨年8月に参議院を通過し、子育て関連三法が成立した。最初、民主党は全てを総合こども園にすることを目指していたが、総合こども園法が廃止になり、自民党政権時代に制定された認定こども園法が改正されることになった。それは市が目指している幼保連携型の認定こども園を拡充していこうというものである。もう1つ子ども子育て支援法では、補助金や認可の流れを1つにまとめて、内閣府の中で一括して事務を行うことになる。ただし財源確保には消費税アップが前提になっている。子育て関連三法を施行する年度は、国は平成27年4月を目指している。その間にもっと詳しい内容が25年度からの国の子育て会議などで検討され、政令等で具体が決まっていくことになる。
委員	市の考え方が出て、皆の意見が出て、これに特別に異議がないなら1歩進んでいかないといつまでたっても平行線になるのではないかと。議論を先延ばしにしているはこの委員会も意味がない。その辺りも含めて検討していただきたい。
委員	今後の協議のあり方についての話に入りたい。この委員会の委員は、年度が変わっても方向性が出るまでは充て職の方も残るといった話だったように思うが。
事務局	この委員会には、自治会長をはじめ、各地域、保護者の代表として出ている。団体によって代わられることはしかたないと思っているが、基本的には引き続きお願いしたい。
委員	代わられる者は代わっても良いとの説明だが、代わられると意見などが振り出しに戻ってしまう。どうか平成25年度もみなさん残っていただくようお願いしたい。事務局からあったように、委員会の内容についてチラシのようなものを作り配布していく方向でどうか。
事務局	これまで4回の委員会での協議の状況や行政の考え方などを、委員会だよりのようなものにまとめ、委員の皆さんに確認していただいたのちに地域内の全家庭に配布できるようにしていくことでどうか。

委員	市として最善の案と考えているという説明であった。このまま進めるということならば、それが最善の案になるように、平成25年度には皆で知恵を出して、この委員のメンバーで地元の説得、教育委員会は自治会等に説明をしていく。そして協議会につなげていけたらと思う。
委員	この方向でいいか。事務局の方でまとめてチラシを配布し、もう1度、委員会を開催する。そこでできれば方向性を出していくということでもいいか。
事務局	今の話の確認だが、平成25年度中に地域の方向性を決めるという話と、平成25年度4月早々に方向性を決めるという話だったように思うがどうか。
委員	この委員会では最善の方法を受け入れ、地元への説明等を平成25年度にしていき、次のステップの協議会に繋げていこうというつもりで申し上げた。
事務局	この委員会では実施するかどうか、時期、場所を決めていただきたい。仮に今、ここで学校規模適正化に進んでいくことで方向性が確認できたなら、平成25年度に実施時期や場所を決めていただく必要があるということになる。そうではなく、最初の方向性も含めて、4月や5月の早い時期に委員会で決めたいというようにも受け止められたので確認させていただきかけた。チラシでお知らせをすとしてもそこで内容が違ってくる。
委員	この委員会ですべてを決めることは難しい。方向性を決めていくために、まずチラシを作ってもらい全戸配布していき、その後検討していくということだと思う。この委員会以外の人達はまだまだ知らない話。幼保一元化についても広報に載っているがピンとこない。もう少し具体的なことを知らせていくことでいろんな意見が出てくると思う。
委員	ゆっくり進めていても仕方がないことなので、方向性として、教育委員会が出している方針で進めていく、それを住民に再度、説明していく。それを25年度中にまとめていくということではどうか。小学校の場所に関しては提案のところでもいいが、幼保の場所については考えさせてもらいたい。染河内から教育の機関がなくなることは非常に残念で、幼保に関してはもう少しゆっくり説明も聞かせてもらいたい。全体の方向性としては進めてもらいたい。
事務局	話を整理させていただくが、これまで4回の委員会を通じ、この委員会として、方向性としては幼保一元化、学校規模適正化を推進していくことを年度内に確認した。チラシ等でお知らせしていくことも含め、具体の場所、時期については平成25年度中に結論を出していく。そういう整理でよいか。
委員	25年度中に住民の合意が得られるよう努力していくということを言っている。
事務局	保護者や地域の説明会を経て、積み上がった意見をまたこの委員会に持ち込み、議論をして決定していくことで住民と合意ができ、次に進めるのだと思う。委員個人の意見は出してもらっているが、例えば保護者の意見をまとめてもらったの発言というところには至っていないと思う。そういった意見を持ち寄って議論いただくことで、地域住民の合意が得られたということになるのかなと思う。その議論が25年度中ということになるのではないかと思う。
委員	この委員会としては推進するという方向性であり、それについて平成25年度に住民の合意をえられるように努めるということだと考えるが。
委員	私はこの委員会はあくまで方向性であり、決定する権限はないと思っている。小学校は中学校に近い場所という提案を市はしている。幼保については場所も担い手の社会福祉法人の考えも見えておらず、もっと詰めていかないといけない。まずこの委員会の協議の内容を委員会だよりにしてお知らせし、保護者、

委員	自治会、老人会などと話を詰めていかないとしょうがないと思うがどうか。学校規模適正化、幼保一元化を進めるということで方向性は出ている。宍粟の広報にも載っている。その中で地域性を生かして一元化を進めていくためにはどうしたら地域に合った1番良い方法で進めていけるのかを色々な方の意見を聞きながら決めていきたいということではないのか。
事務局	市としては進めていきたいということで計画を立てている。地域の委員会では地域の特色や思いの中で、学校規模適正化に関しては市が提案している場所でもいいのか、時期はいつがいいのか、そういった具体的な方向性を決めていただきたい。それを平成25年度中でどうかということで申し上げている。幼保一元化についてはもっと時間をかけて検討していく、それも1つの方向性だと思うのでそういった整理をお願いしたい。
委員 事務局	それが先ほどから言われていることではないのか。それで委員のみなさんがよいと言われるのであれば、まだ時期については決まっていないと思うので、そのあたりも決定してもらえればと思う。
委員	平成25年度中に決定して、資料では平成30年度実施となっているが、期間が開いて、この委員会を解散して、また違うメンバーで最初から話をするのは大変なので、議論が冷めないうちに一気に実施したらどうかと思う。
事務局	平成25年度に地域を含めて進めていく方向になったとしたら、学校規模適正化で言えば、学校が1つになることを前提に具体的なことを協議するための協議会を立ち上げ、実際には学校の先生にも入っていただき、新しい学校をつくるための作業に入っていくことになる。
委員	一気に進めてはどうかというのもそのとおりと思うが、代表として委員会に出てきてはいるが、協議の内容を地元きちんと伝えられていないかも知れない。地元で、委員会で勝手に決めたというような話で紛糾しても困る。代表として出てきている者が困らないように、チラシを作るにしても事務局できちんと分かり易く地元へ説明していただきたいということだと思う。
委員	幼保一元化の検討がストップすることは気になる。できれば学校規模適正化と一緒に進めて行けることが1番良い。学校規模適正化を進める、幼保一元化はストップということになると、まとまらないことも考えられる。
委員	幼保一元化は場所の問題をもっと検討しようということで、進めることを反対しているわけではない。もっと詳しく説明が聞きたい。同時進行でも問題ない。
委員	この委員会の中でもっと認識をして、一致しないといけない。学校規模適正化についても個人的には反対される方もいると思うが、委員会で方向が決まったならば細かいことは別としてその方向で考えないと。
委員	この委員会を長期間引っ張るつもりはないが、単純にこの委員会で方向性を決めてすぐにスタートというわけにはいかない。地域の方が納得しない。まずは、チラシでこの委員会で協議してきた内容を知らせ、市の提案や考えを知らせていくことでどうか。
委員 委員	この委員会ではある程度の方向性を決めていかないといけない。 この委員会はこれからも継続していく。平成25年度早々に25年度第1回目の委員会を開催する。それまでに教育委員会がチラシを作り配布する。場合によっては市から自治会に説明に入ってもらうことになるかもしれない。そういうことで本日は閉会させていただく。